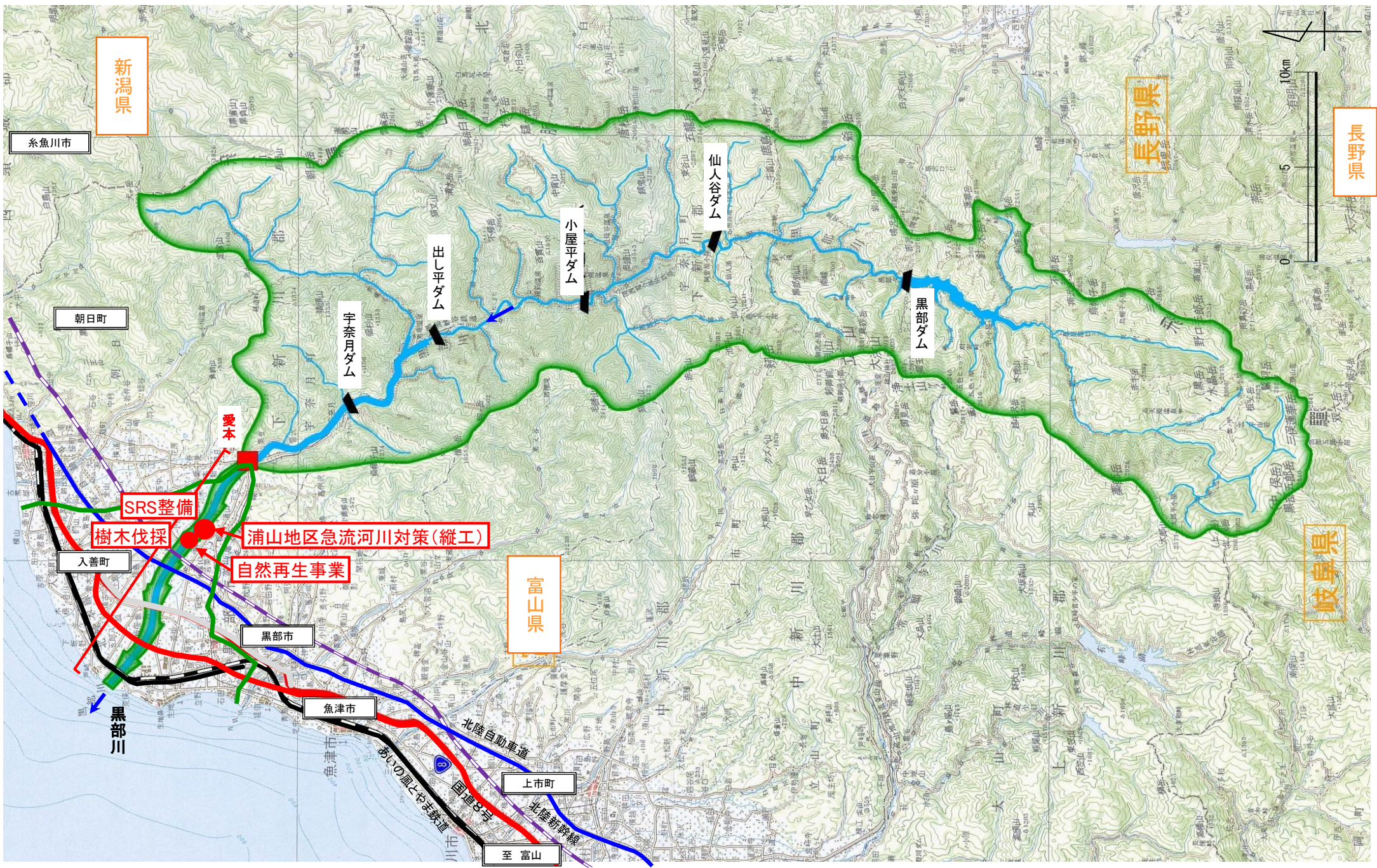


令和8年度の黒部河川事務所の事業



黒部川河川改修事業

浦山地区急流河川対策(黒部市)

事業概要

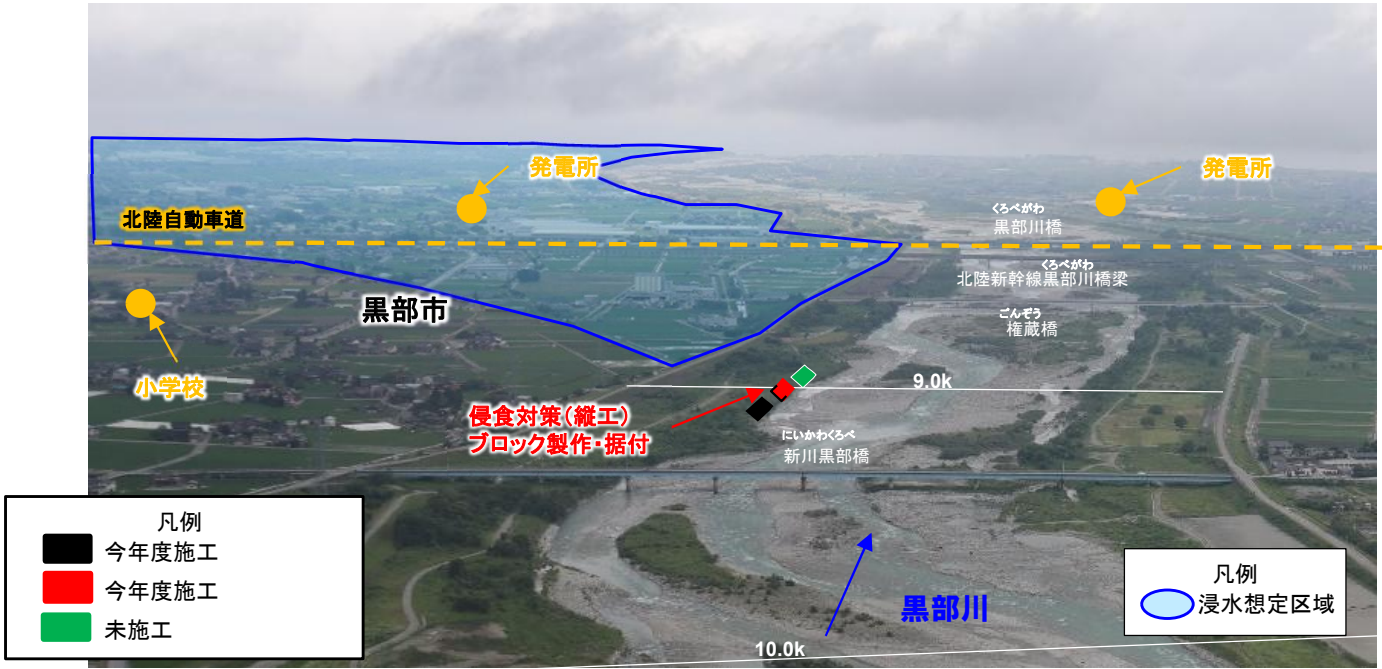
黒部川は我が国有数の急流河川であり、これまで幾多の箇所にて堤防の侵食・洗掘による破堤が生じています。浦山地区は、黒部川扇状地の左岸扇頂部に位置し、破堤した場合には、流下する洪水により甚大な被害が懸念されます。そのため、堤防の足元にある寄り州に侵食・洗掘から防護する機能をもつ「縦工」を整備し、堤防の強化を図ります。

今年度の内容

浦山地区において、急流河川対策である縦工の整備を推進します。

事業効果

洪水時の強大な流水エネルギーから堤防を保護し、治水安全度を向上させます。



縦工既施工状況

黒部川水系総合環境整備事業

黒部川自然再生事業(黒部市若栗地先^{わかぐり}、入善町小摺戸地先^{こすりど})

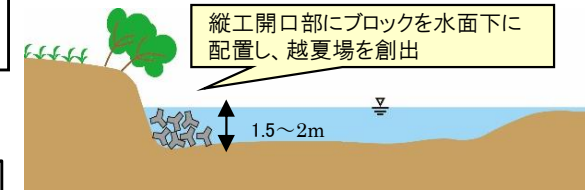
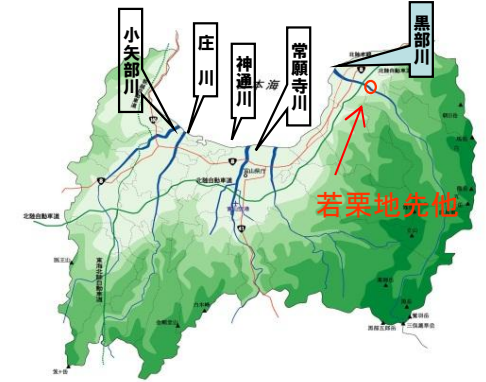
■事業概要

黒部川は、かつて急流河川特有の植生や魚類が多く生息する豊かな自然環境を有していたが、みお筋の固定化や河道内の二極化の進行により礫河原や瀬・淵等の多様な河川環境が減少しています

このため、黒部川では、礫河原(瀬淵環境)の再生、魚の隠れ場の整備、河口部湿地環境の改善、やすらぎ水路の機能改善を図るべく、「黒部川自然再生事業」を進めていきます。

■今年度の内容

若栗地先・小摺戸地先周辺にて、魚の隠れ場の整備を進めていきます



魚の隠れ場の整備 (イメージ)



整備予定箇所状況



魚の隠れ場の整備状況

■サクラマスは、全国的にも注目度が高く、産卵場に利用する瀬や淵は、他のサケ科魚類の産卵場となるほか、アユの採餌場、カジカ等の生息場として好適な環境であることが確認され、黒部川の魚類の代表種です。よって、サクラマスを指標種と位置づけ、瀬淵の保全・創出のための事業展開を図っていきます。

黒部川河川維持管理事業

スマート リバー スポット

うらやま

うらやましん

なかのくち

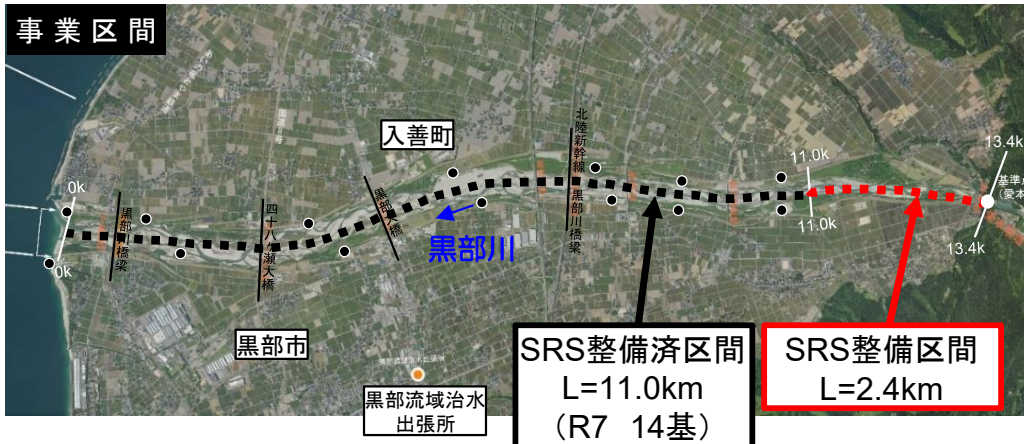
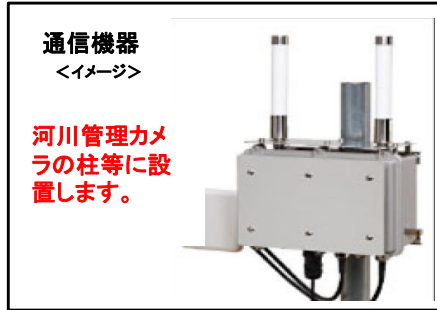
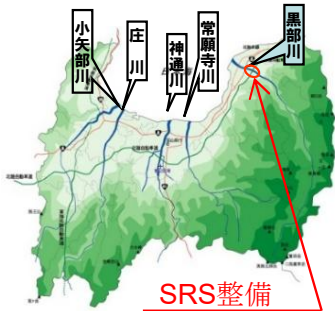
SmartRiverSpotの整備(黒部市浦山、入善町浦山新～黒部市宇奈月町中ノ口)

■事業概要

インフラ管理の効率化・高度化を図るため、ドローンによる縦断的な河川巡視・施設点検の実施に必要な通信スポット (Smart River Spot (以下、SRS)) の整備を行います。

■実施内容

黒部川 11kp～13.4kp (黒部市浦山・入善町浦山新～黒部市宇奈月町中ノ口) 区間において、令和7年度に引き続きSRSを整備します。



整備効果

- ・1日がかりの河川巡視が約半日に短縮が可能となる
→ 【効率化・省人化】
- ・目視確認ができない箇所での巡視・施設点検が可能となる
→ 【高度化、安全性の向上】

【現状】 → 河川巡視員等による河川巡視・施設点検



【整備後】 → ドローンによる河川巡視・施設点検



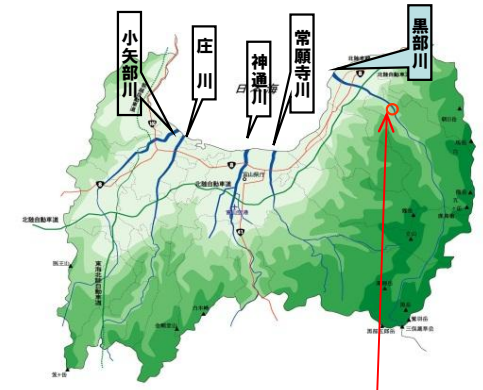
黒部川河川維持管理事業

河川内の樹木伐採(黒部川全域)

事業概要

河川内の樹木伐採により、河川巡視やCCTV監視を効率的に実施するほか洪水時の安全な流下を確保します。
 また樹木伐採は、堤内地(人の生活圏)や河川利用時におけるクマの出没対策※に寄与します。

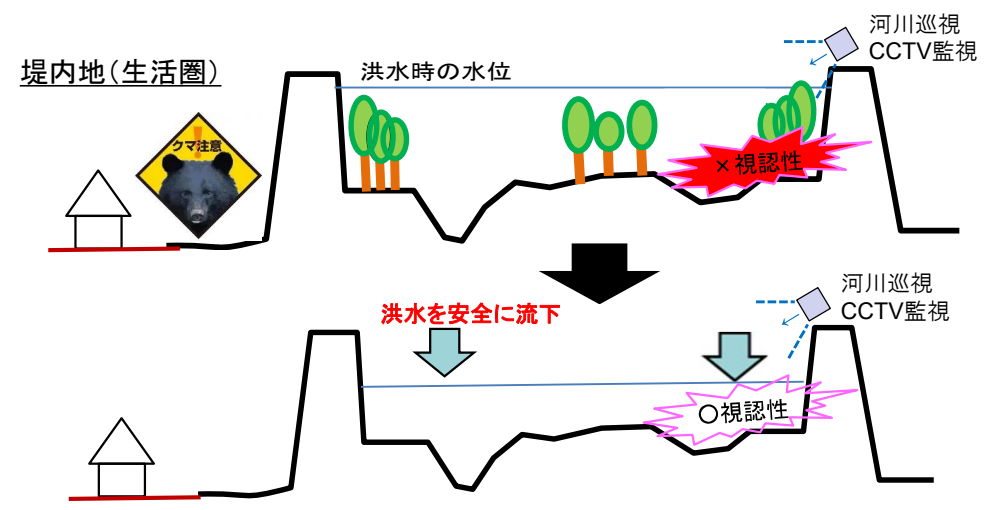
※R7.11.14クマ被害対策等に関する関係閣僚会議「クマ被害対策パッケージ」より



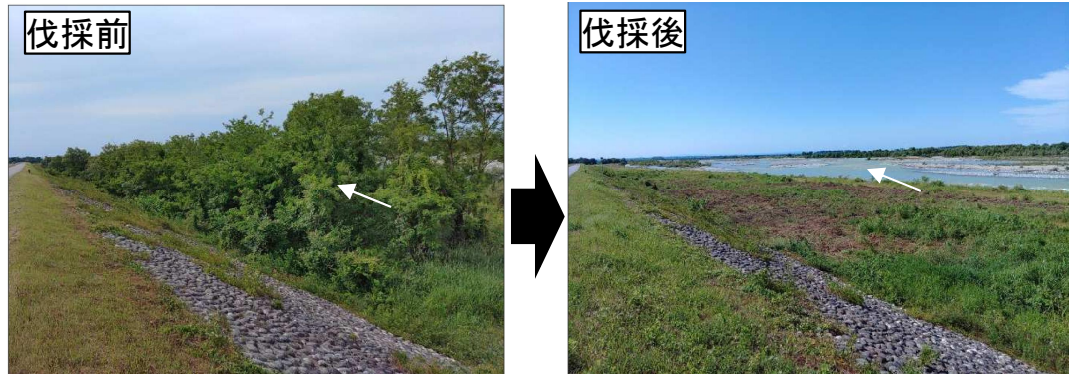
黒部川全域(黒部市・入善町)



実施箇所は河川管理者が予定する伐採箇所に対し、関係自治体等とも調整の上進めていきます



黒部川における河川利用状況



樹木伐採による視認性向上・クマ出沒対策の例

黒部川河川維持管理事業

塵芥対策(流木の回収・無償提供等)

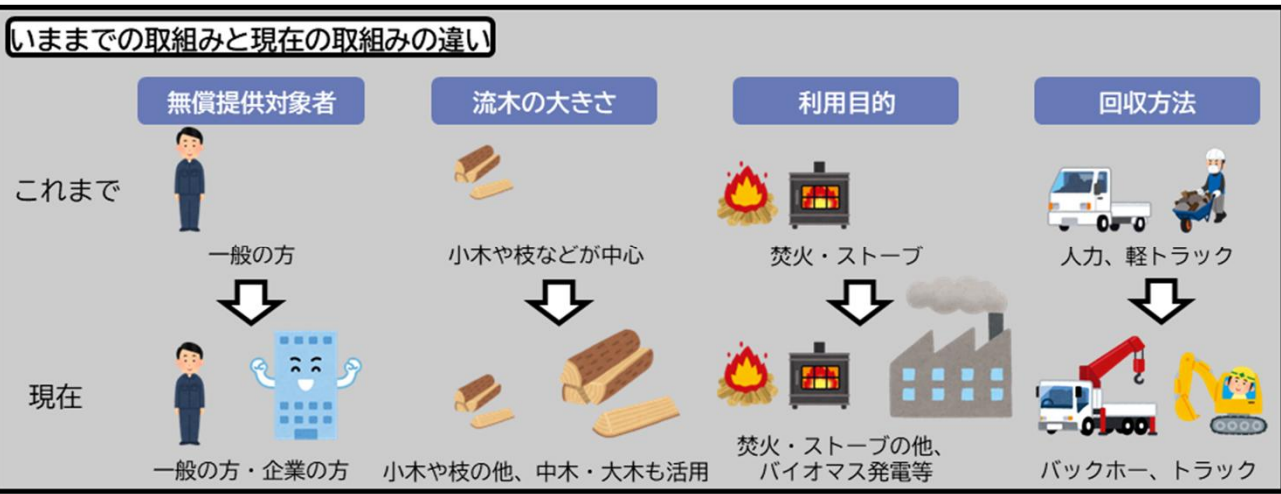
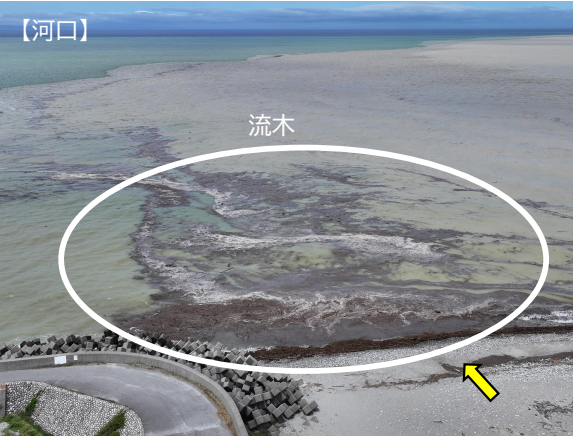
ー 資源の有効活用とコスト削減の取組み ー

黒部川では、出水のたびに大量の流木が流下し、橋脚への衝突や樋管周辺に堆積するなどの施設被害や海に流れ出ると漁業に悪影響を与える恐れがあるため、回収・処分の頻度も増え多額の処分費用を要しています。

黒部河川事務所ではこれまで回収した流木を一般の方に自家消費限定で無償提供し費用の低減を図ってきましたが、令和6年度より『公募型樹木等採取』として一般企業等(営利目的可)も対象とした無償提供の試行を始めました。これにより、流木処分先にバイオマス燃料などへの資源活用が増え、処分費のさらなる縮減が期待できます。

堆積した大量の流木

公募型樹木等採取(無償提供)



効果検証(コスト削減等)

度重なる出水により年々流木の回収量・処分費も増大!

公募型樹木等採取の導入

【令和6年度実績】

期間: 9月9日~10月29日(約2ヶ月)

回収量: 601.98t

一般の方の採取は継続中

Material For PRESS Release
黒部河川事務所

黒部川の流木を無償で提供します

黒部河川事務所では、洪水時に流木が河川管理施設等に悪影響を及ぼさないよう河川内の流木を回収しており、その流木を無償で提供します。

1. 概要
黒部河川事務所では、無償配布と公募型樹木等採取試行の2つを行います。
・無償配布: 個人使用のみ提供
・公募型樹木等採取試行: 営利目的の民間(企業・団体等)に提供
※公募型樹木等採取試行の詳細につきましては下記のURLをご覧ください。
<https://www.hrr.mlit.go.jp/kurobe/press/251020/index.html>

2. 提供期間
令和7年10月24日(金)~令和8年5月7日(木) 各日8時00分~17時00分
※令和7年10月22日(水)~23日(木)は、業務休止日となります。
※お問い合わせください。

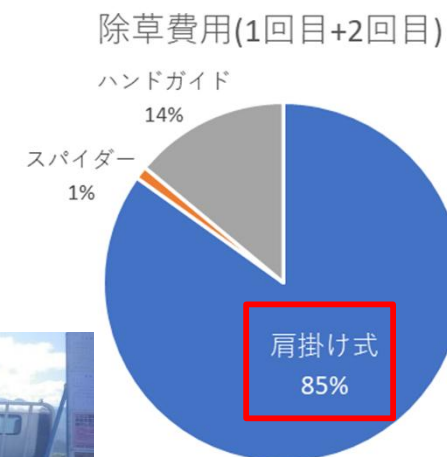
期間: R7. 10~R8. 5. 7まで
詳細: 黒部河川事務所HP
<https://www.hrr.mlit.go.jp/kurobe/>

- 黒部川の堤防は、川表裏ともに石張護岸により形成されている。
- 堤防除草は、河川巡視や点検による堤防の状態把握を効率よく行うため、周辺状況、堤防利用状況、植生状況等を考慮した上で、年に2回実施。
- 除草方法は、ハンドガイド式(機械)、肩掛け式(人力)等での作業となるが、石張護岸でかつ勾配が急なため肩掛け式での作業となっている。

【石張護岸に適用可能な除草機械の活用】

- 法面勾配が急で肩掛け式による除草をおこなっていた箇所について、スパイダー(石張り護岸に適用可能な除草機械)を使用し、作業員の安全確保と作業効率の向上、コスト縮減に取り組んでいる。

- <実施時期> • 年2回：1回目(5月中旬から) 2回目(8月中旬から)
- <実施場所> • 河口～宇奈月ダム(0.0k～20.7k)の有堤区間
 ※兼用道路の天端及び路肩法面、堤防坂路等の占用地は除く
- <実施範囲> • 堤防及び川表川裏は官民境界や法尻までの範囲を基本に実施



除草面積に対する
施工方法の割合
(実績)



ハンドガイド式による除草



肩掛け式による除草

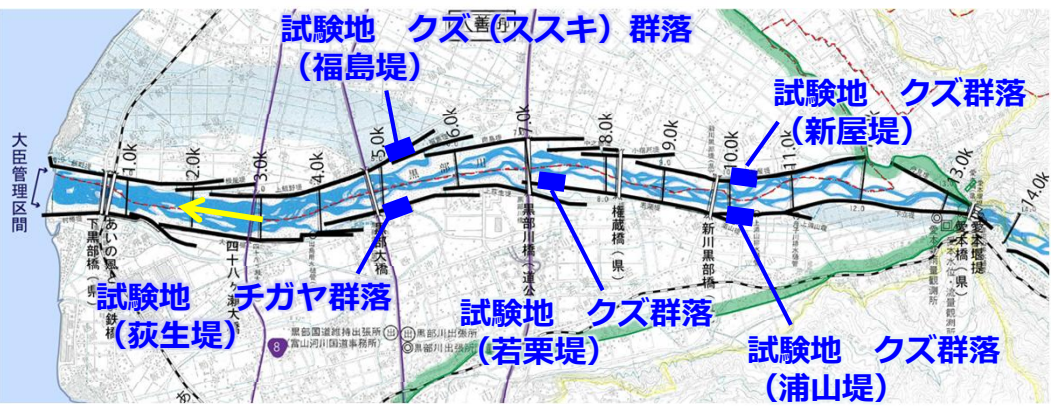


スパイダー
* 石張護岸に適用可能な除草機械

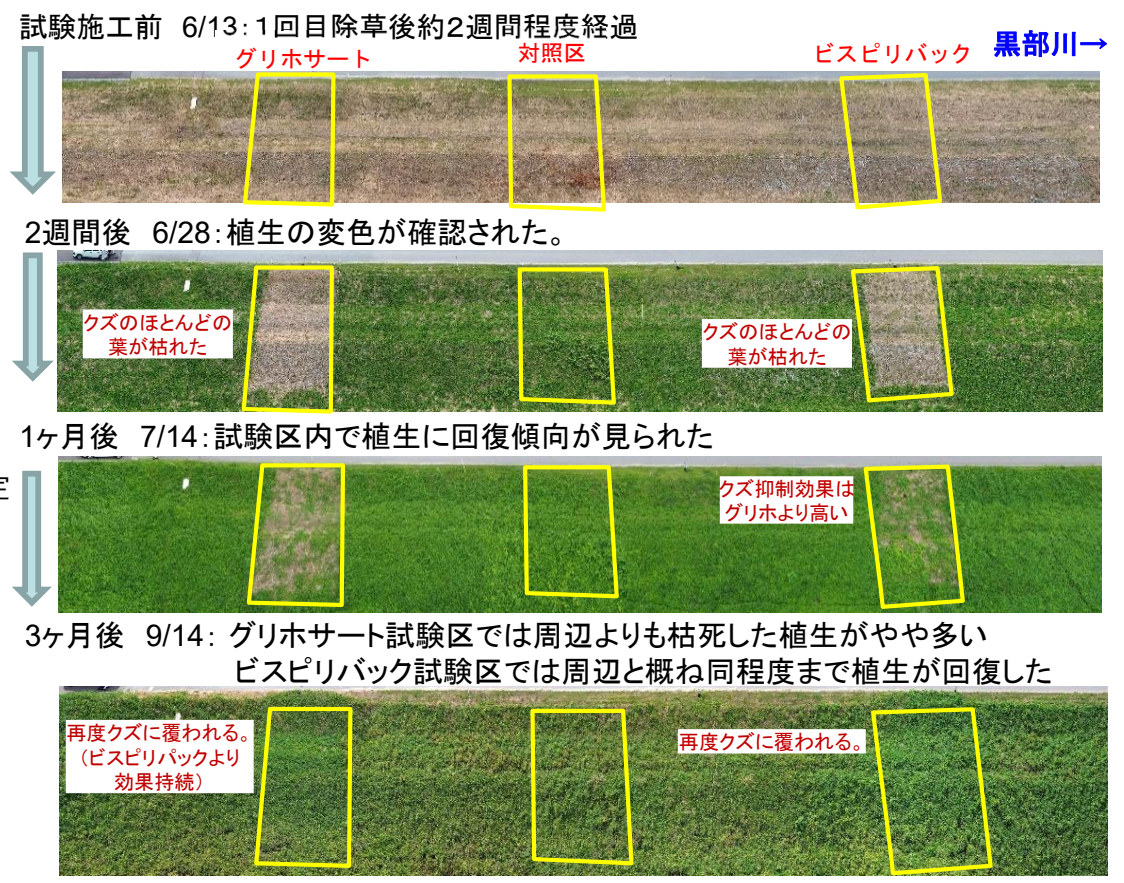
黒部川河川維持管理事業 堤防除草(効率的な植生管理に向けた取り組み)

堤防除草に代わる効率的な堤防植生管理手法として、植物成長調節剤の散布(試行)を実施。
草丈を抑制することにより、堤防の法面の視認性向上、集草や処分費の縮減等の効率的な堤防管理に取り組んでいます。

○試験実施箇所(令和5~7年度)



○散布後の植生の変化: 若栗堤-クズ群落(川表: 練石張)



○使用する植物成長調節剤

- 植物成長調節剤は堤防の植生へ効果と他河川での堤防法面での使用実績等から選定
- 使用量は、農林水産省農薬登録情報提供システムに登録されている規定使用量(上限値~下限値)の平均*とした。

植物成長調節剤	効果	実績
グリホサート系	ススキ、クズのほか多くの植生	堤防法面での使用実績有
ビスピリバックナトリウム塩	イネ科多年草など	堤防法面での使用実績有

